

バックナンバーのご案内

Vol.26 no.12 2016年12月号

特集 現場の変化を捉えた「転倒・転落」予防

患者の高齢化・重症化に伴う新しいケア環境を考える

【座談会】いま、あらためて考える転倒・転落対策
急性期病院における療養環境マネジメント

●阿久津靖子／杉山良子／寛淳夫／高井今日子

高齢患者に身体拘束を行わないためのケアの工夫

全国51か所の地域医療支援病院の看護師を対象にした調査からの考察 ●日向恵恵

【インタビュー】「看護師の判断」を人工知能が学習し転倒・転落予測を支援する
人工知能「KIBIT」を用いた NTT 東日本関東病院の取り組み ●武田秀樹／中尾正寿

転倒予防への患者参加を目的とした転倒インシデントの分析と説明用ツールの開発
大阪大学医学部附属病院の取り組み ●圓見千代／上間あおい／田中宏明／三谷朋

現場の変化を捉えた新たな転倒・転落対策

全個室の新病院への移転、JCI 認証などの環境変化を通じて ●勅使河原由江／相澤香代子

外来部門における転倒・転落事故予防

JCI 受審を契機とする聖隷浜松病院の取り組み ●中野由美子

患者特性に応じた「先取り介入」による新たな転倒・転落予防

旭川医科大学病院の取り組み ●小山内美智子

がん終末期にある高齢患者の転倒・転落の実態と予防策の検討

緩和ケアに安全対策の視点を取り入れて ●油野規代

特別記事

イタリア・国立がん研究所の継続教育センターの活動

ナラティブ教育プログラムに焦点を当てて ●グレッグ美鈴／脇坂豊美／林千冬

NAレポート

誰もが安心できる快適な療養環境のために

ベッドの更新を契機とする横浜労災病院の取り組み

第47回日本看護学会—看護管理—学術集会開催

シンポジウムで在宅・地域との連携を議論

バックナンバーの詳しい目次は、
弊社ホームページ
<http://www.igaku-shoin.co.jp/>
をご覧ください



実践報告

入院前から始める急性期病院の
患者マネジメント

PFM 導入による途切れない情報と
ケアのつながりを目指して

●森本恭子ほか

巻頭シリーズ

うちの師長会・主任会

学習する組織をめざして㉔ (最終回)

尾道市立尾道市民病院附属

瀬戸田診療所

Vol.26 no.11 2016年11月号 特集 現場改善のための「業務量調査」

Vol.26 no.10 2016年10月号 特集 看護のためのファシリテーション 対話型・参加型組織をつくる技法と実践

Vol.26 no.9 2016年9月号 特集 コンピテンシーを基盤にしたクリニカルラダーの開発 北里大学病院・東病院の取り組み

Vol.26 no.8 2016年8月号 特集1 ミッションマネジメント 対話と信頼による価値共創型の組織づくり
特集2 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)

Vol.26 no.7 2016年7月号 特集1 あなたの病院はどうしますか? 2016年診療報酬改定から考える自施設の役割
特集2 地域に向けて病院を開く JCHO グループ病院の取り組みから

Vol.26 no.6 2016年6月号 特集 医療安全対策はここまで変わる! ヒューマンエラーの行動分析

Vol.26 no.5 2016年5月号 特集 臨床看護師だからこそできる被験者ケア 臨床試験・治験にも変わらない看護を

Vol.26 no.4 2016年4月号 特集 「承認」が持つ力 相互に認め合える環境が、組織と個人にもたらす価値

Vol.26 no.3 2016年3月号 特集 採用活動を変えると組織が変わる 組織開発と人材育成の視点で捉える採用プロセス

Vol.26 no.2 2016年2月号 特集 地域で暮らすがん患者への包括的支援 病期の進展を見据え、移行期を支える体制づくり

Vol.26 no.1 2016年1月号 特集 看護管理者としての意思決定
新たな看護ケアの創出に向けて、スタッフとともにいかに歩むか

【バックナンバーのご注文・在庫照会について】

- 2014年12月号 (Vol.24, No.12) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX.03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015年1月号 (Vol.25, No.1) 以降の号は、医学書院受注センター (TEL.03-3817-5666, FAX.03-3885-0638)